

北ノ川小学校便り

教育目標 「かしこく やさしく たくましく」
～主体的に未来を拓く子どもの育成～
第4号 令和6年12月6日 北ノ川小学校発行



北ノ川フェスティバル 創立150周年記念式典開催



11月16日（土）毎年恒例の北ノ川フェスティバル、及び北ノ川小創立150周年記念式典を行いました。

北ノ川小学校の歴史は、明治7年（1874年）上山郷幡多郡第六学区第七四番小学区の巡教場（北ノ川・市ノ又・烏手・相去・弘瀬・折合）を廃止し、字カシノモト六ヶ所村庄屋の空家に北ノ川小学校を開いたことに始まります。明治二九年五月に新校舎を建築。大正三年大正改元を機に大正村立北ノ川小学校と称し、昭和二二年八月には、村政から町政となり大正町立北ノ川小学校となります。昭和四九年（一九七四年）創立一〇〇周年を迎えます。更に平成一八年三月大正・十和・窪川三町村合併に伴い四万十町と命名、学校も四万十町立北ノ川小学校と改称しています。令和四年三月に北ノ川中学校が休校となり、令和六年北ノ川小学校は創立一五〇周年を迎えました。

この永い歴史と伝統は、歴代の校長先生をはじめ諸先生方、PTA、地域の多くの関係する皆様のご尽力によって積み上げられ、今日のすばらしい学校に発展してきました。

そして何よりは、いつの時代にもその主役である子どもたちの元気と、保護者の皆様の愛情の一つひとつが連綿と繋がり地域と共に校風がつくられてきました。

今後も、北ノ川小学校のこの温かさを継続することができるよう、教職員一人ひとりが主体となり、一人ひとりの子どもたちの未来のために歩み続けていく北ノ川小学校であり続けます。これからも、ご支援、ご協力をお願いします。



この行事に向けて、11月15日（金）には、地域・保護者等30名ほどのボランティアの方に学校へ来てもらい、餅つき体験も行いました。まき餅、持ち帰りのあん入り餅合わせて、2000個ほどのお餅を丸めました。餅つきに関しては、打井川の秋田やよいさんが中心とな

り早朝より作業を開始しました。児童の中には、初めて杵で餅をつく児童もあり、とても貴重な体験となりました。つけた餅は、順番に丸める作業も体験しました。

地域保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

